

報道関係各位

2018年10月12日

森ビル株式会社

第17回 屋上・壁面特殊緑化技術コンクール
GINZA SIX「国土交通大臣賞/屋上緑化部門」受賞
～銀座の歴史と文化を踏まえた2つのコンセプトの融合～

2017年4月に開業した「GINZA SIX」はこの度、「第17回 屋上・壁面特殊緑化技術コンクール」(主催:公益財団法人都市緑化機構)において、「国土交通大臣賞/屋上緑化部門」を受賞いたしました。



GINZA SIX 外観



銀座エリア最大の屋上庭園「GINZA SIX ガーデン」

<受賞理由>

屋上庭園「GINZA SIX ガーデン」(約4,000㎡)は、「自然に親しむ近世江戸の庭園文化」と「街の賑わいを楽しむ西欧の広場文化」の融合をコンセプトにランドスケープデザインを行っています。

多様な技術が盛り込まれた都心部の屋上緑化のモデルとして、まとまった緑化空間が創出され、回遊性が確保されていること、オフィスワーカーの憩いの場、インバウンド観光への貢献に加え、「ヒルズ街育プロジェクト」と呼ばれるESD活動などの積極的なアクティビティが展開されていることが高く評価されました。

<受賞者名>

銀座六丁目10地区市街地再開発組合、株式会社谷口建築設計研究所、鹿島建設株式会社、株式会社プレイスメディア

※「屋上・壁面特殊緑化技術コンクール」

建物の屋上や壁面などの特殊空間の緑化について積極的に取り組み、優れた成果をあげている民間企業、公共団体、個人等を顕彰することにより、都市緑化技術の一層の普及推進を図り、みどり豊かな都市環境の実現に寄与することを目的としています。(主催:公益財団法人都市緑化機構 後援:国土交通省、環境省、東京都、日本経済新聞社 特別協賛:第一生命保険株式会社 協賛:住友林業株式会社)

当社は、今後も緑豊かで地球に優しい都市環境の創造に努めるとともに、魅力ある街づくりを積極的に推進する事で、首都東京のさらなる磁力向上に貢献してまいります。

【本件に関するお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 プロロー

TEL : 03-6406-6606

FAX : 03-6406-9306

E-mail : koho@mori.co.jp

銀座の歴史と文化を踏まえた2つのコンセプトの融合

～「自然に親しむ近世江戸の庭園文化」と「街の賑わいを楽しむ西欧の広場文化」～

銀座エリア最大となる約4,000㎡の屋上庭園「GINZA SIX ガーデン」は、地上13階、高さ約56mの建築物屋上に位置し、屋上庭園の約56%にあたる約2,200㎡の緑地を新たに創出、世界中から銀座を訪れる人々に、憩いや交流の場を提供しています。近代の東京において、東洋と西洋が重なり合った街であった地「銀座」に誕生する屋上庭園として、「自然に親しむ近世江戸の庭園文化」と、「街の賑わいを楽しむ西欧の広場文化」の融合をコンセプトにランドスケープデザインを行いました。

植栽は、「江戸の庭園文化」をコンセプトに、サクラやカエデ類など四季の移ろいを感じることができる樹種を採用し、江戸の庶民の暮らしで身近に親しまれた庭園や園芸の文化を踏まえ計画しました。また、「西欧の広場文化」をコンセプトに、イベント等における活用を重視した広場空間を屋上庭園中央部に配置しています。広場は、芝生敷きと水盤の2種で構成し、水盤は水を抜くことで平面利用も可能とする等、技術的な工夫により、屋上でヨガやアートを楽しむなど、多様なイベントやコミュニティの場としても活用しています。

オープン1周年を迎えた今年は、館内の観世能楽堂と連携し、薪能特別講演を開催。他にも、親子向け体験学習プログラムの「ヒルズ街育プロジェクト」を開催し、子供たちの環境教育の場とするなど、都心の真ん中にある貴重な緑を造るだけでなく、有効に活用し、育てています。



屋上サンデーヨガ



チームラボによるデジタルアート
「チームラボ： 呼応する木々 in GINZA SIX GARDEN」



観世能楽堂と連携した薪能特別公演



「ヒルズ街育プロジェクト」

また、屋上の外周約370mにも植栽を施すことで、GINZA SIX周辺の各通りや建物から屋上庭園に対する視認性を高めるとともに、屋上に回遊性を持たせることで、部分的な賑わいだけでなく、景観の移り変わりを認識できる連続的な賑わいを創出。回廊の三原通り側には、再開発前からこの地にあった稲荷神社を移設し文化継承に寄与しています。



<参考>

当社が管理運営する「虎ノ門ヒルズ」では、2015年に「第15回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」にて同賞を受賞しています。